



久留米大学

御井図書館ニュース

No. 64 2007年6月1日発行

主体的学習を支える図書館

大学院心理学研究科 科長 安永 悟

授業改善を目的として新しい教授・学習法が大学の授業に盛んに導入されています。既に一定の評価をえた方法や、これからの工夫・改善により素晴らしい成果が期待できる方法など、さまざまです。そのなかにあつて現在注目されているのがPBLです。

実はこのPBL、二つの意味があります。一つはProblem Based Learningであり、一つはProject Based Learningです。前者は指導者が提示した問題を学習者が主体的に解決する過程での学びを強調します。後者は学習者が主体的にプロジェクトを企画・遂行する過程での学びを強調します。このように学習構造の違う二つの学習法に同じ名前がつけられています。

しかし、構造は違いますが共通点もあります。両者とも主体的に学べる学生の育成を目的としています。問題を解決するために、またはプロジェクトを完成させるためには多くの知識や方法が必要とされます。学生はそれらを指導者から直接教えてもらうのではなく、仲間と協力し合つて、自分たちで調べ、読み解き、理解し、獲得します。これらの活動を通して、学生自身が自分の学びの過程に深く関与することにより、学びへの動機づけが高まり、主体的な学習活動が促進されます。一方、指導者はファシリテーターの役割に徹します。これらの点において二つのPBLは共通しています。

主体的な学習活動を展開するためには、学習環境の整備が大きな課題となります。PBLを実践するためには授業時間だけでは足りません。授業時間外に集まつて活動をおこなえる場、つまり、学生が好きなときに好きなだけ自由に使える場、必要な情報を効率よく入手できる場、仲間や関係者と交流でき、議論できる場、学習成果をプレゼンテーションし、相互に評価できる場が必要になります。しかし残念ながら、そのような空間が学内には極めて少ないのが現状です。数少ない空間も、管理の問題から使用方法と使用時間が制限されています。

学生が主体的に学べる学習環境を大学は総力をあげて早急に整備すべきです。なかでも大学図書館は、これだけの学習環境をトータルとして提供できる唯一の組織です。また、そうすることが大学図書館本来の任務だと考えています。大学図書館が、二つのPBLをはじめとした主体的な学習者の育成をめざす教授・学習活動を支える拠点として、その機能をますます充実・強化することを強く期待しています。

代行運転の記憶

御井図書館 館長 遠山 潤

先日、御井図書館3階のマルチメディアルームで、ウエストロー・ジャパン社の担当者による Westlaw International という法律分野の有料データベースについて、説明会が開かれました。このデータベースはPR文によれば、「16以上の法域から、判例、法令、行政関連資料、法律雑誌、法律百科事典、弁護士年鑑、ニュースおよびビジネス情報をご提供」しますというものです。

説明担当の若い社員と本学の先生たちとの質疑応答のやりとりを聴きながら、私は、30代の頃、ある大学図書館で Chemical Abstracts という化学情報データベースの代行検索をやっていたことを思い出しました。その大学では2名の研究者がこの通称ケミアブと呼ばれるデータベースを必要としていて、その二人の代わりに私の方で検索をしていたのです。ちょうど、代行運転のようなものです。

今は課金方式が変わっているようですが、当時はアクセスするたびに料金を取られ、さらに接続1分間につきいくら、プリントアウトすればまたいくらという具合に加算され、利用者をかなり急かせるものでした。化学式など高校の化学で習って以来見たことがなかったので、白い紙に何回も検索式を書き直し、一番早くて確実な手順を決めてから、単純な式の組み合わせを作り、それを必死で打ち込むという作業をしばらく続けました。あのころ、1回で3,000~5,000円程度、プリントアウトすれば7,000円くらいはかかっていたような気がします。一度だけ、1万円をかなり超過したことがありましたが、その時は結果をお知らせするのがちょっとつらかったことを覚えています。

私が先日、Westlaw Internationalの説明会で感じたことは、法学であれ、化学であれ、どんな分野でも要するにデータベースの基本は同じだということです。Westlaw International の仕組みを構成する Citing References や Natural Language、そして thesaurus といった用語は、大学図書館員にとっては日頃から慣れ親しんだ知識の範囲内か、あるいはその延長線上に類推されうるものです。

研究者は、各対象領域で設定された目前の課題やテーマをたえず追いかけていますから、それらの研究成果が公開され成果物となった場合、それら成果物に対する視線は、とうぜんその内容に注がれます。

ところが、データベースを構築するばあいには、まず原資料を資料それ自体として他の資料群の中にただたんに挿入するということをします。つまり、記録を記録それ自体として眺め、レコードの1件を同定した上で、他の記録と同じ論理で1件の記録を作成します。そして、次に、そのオリジナル情報を加工します。これは、ときに数百万、数千万件というレコードの中からもっとも欲しい1件を自由自在な角度で取り出せるようにするためです。この加工のプロセスから Natural Language という考え方や、Citing References、thesaurus といった手法が生まれています。

そういうわけで、各分野の専門知識に通じた人が、これら一連の情報加工技術についての知識を併せ持つことができれば、データベースをもっとも本格的に活用できるということになると思います。

【平成19年度 御井図書館運営委員紹介】

御井図書館長	遠山 潤 教授 (文学部)
文学部	辻丸 秀策 教授 桑野 栄治 准教授
法学部	日野田浩行 教授 森 茂樹 准教授
経済学部	浅見 良露 教授 清木場 東 教授
商学部	野田 秋雄 教授 谷口 豊 准教授
大学院比較文化研究科	清木場 東 教授 (経済学部図書委員兼務)
大学院心理学研究科	岩元 澄子 准教授 (文学部)
法科大学院	日野田浩行 教授 (法学部図書委員長兼務)
ビジネス研究科	野田 秋雄 教授 (商学部図書委員長兼務)
健康・スポーツ科学センター	吉田 典子 准教授
外国語教育研究所	塩津 敏彦 准教授
オブザーバー	狩野 啓子 教授 (文学部)

※ 附属図書館長 遠山潤教授は御井図書館長を兼ねる。

寄 贈 図 書 (学内関係者)

2006/12/01～2007/04/30受入分

寄贈者氏名	編 著 者 名	タ イ ト ル	出 版 社
石松 亮二	石松亮二著 久留米大学法学会編	ドイツ労働法の基本問題：組織強制の法理 (久留米大学法政叢書：3)	成文堂
多賀 太	住田正樹、多賀太編著	子どもへの現代的視点： 住田正樹教授九州大学退職記念論文集	北樹出版
帖佐 隆	帖佐隆著 久留米大学法学会編	職務発明制度の法律研究 (久留米大学法政叢書：16)	成文堂
永池 克明	永池克明著	電機産業の発展プロセス：競争力を高める企業戦略	中央経済社
野田 秋雄	野田秋雄著	アメリカの鉄道政策	中央経済社
福永文美夫	福永文美夫著	経営学の進化：進化論的経営学の提唱 (文真堂現代経営学選集：第Ⅱ期第6巻)	文真堂
森尾 亮	内田博文、佐々木光明編	「市民」と刑事法： わたしとあなたのための生きた刑事法入門	日本評論社
森本 芳樹	森本芳樹著	西欧中世初期農村史の革新：最近のヨーロッパ学会から	木鐸社

* 敬称略50音順



KURUME UNIVERSITY SINCE 1928

久留米大学は2008年に創立80周年を迎えます。

お知らせ

本年度より下記のデータベースが利用できるようになりました。

資料検索等にご活用ください。

御井図書館のホームページ (<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib>) の各種リンクをクリックください。

朝日新聞記事データベース

● 聞蔵Ⅱビジュアル

朝日新聞のオンライン記事データベースです。戦後（1945年から今日まで）の新聞記事が検索できます。

新聞縮刷版約660冊分（2006年5月現在）の記事が収録されています。

同時アクセスは2アカウントです。

読売新聞記事データベース

● ヨミダス文書館

1986年から今日までの読売新聞の記事が検索できます。

同時アクセスは1アカウントです。

MeteoIntergate Inc.

● メディカルオンライン (Medical Online Library)

国内の医学会誌・学術専門誌を統合した文献検索、全文データベースです。

同時アクセスは無制限です。

Westlaw

● Westlaw International

世界中の判例、法令、行政関連資料、法律雑誌、法律百科事典、弁護士年鑑、ニュースおよびビジネス情報を網羅したデータベースです。

同時アクセスは無制限です。



読書の時間

経済学部文化経済学科 亀川由紀

皆さんは、小学生や中学生の頃、読書の時間を経験したことはあるでしょうか。読書の時間といえば、自分の好きな物語や小説など、短い時間などを使って本を読む時間のことです。私が小学生の頃は、週に一度、朝の学習の時間が、その読書の時間にあてられ、皆様々な本を読んでいた。

しかしここ数年では、そのような時間を取る学校が少なくなっている地域も見られ、携帯電話やパソコンの普及で、子ども達読書離れが問題になってきています。

読書をすることにより、知らなかった言葉を知り、文章力を養うこともできます。また、何かを調べるときも、インターネットを使い、数秒で知るよりも、厚い本を読んで理解するほうがよく頭に入るとも思われます。

そのような利点の多い読書を、より多くの子どもたちに広めようと、最近では再び、読書の時間を実践している学校も増えてきているのです。漫画や雑誌だけでなく、少し厚めの小説や物語を読むのです。その時間は、昼休みや放課後ではなく、朝の意識がはっきりしている時間に行うのが、最近の読書の時間の特徴と言えます。

ゆとり教育とともに、学習の時間が減り、朝の学習の時間もそれとともに消えていきました。その消えた時間を、読書の時間として復活させることは、無理に勉強を強制するより、子どもたちにとって、とても有意義な時間となるのは間違いありません。

朝の読書は、子どもたちだけがすることではありません。最近皆さんが読書をしたのがいつであったか、覚えているでしょうか。一冊本を読みあげた時の感動を覚えているでしょうか。前にも挙げたように、私たちはいま、携帯電話が欠かせない生活を送っています。そんな時代だからこそ、読書によって落ち着いた時間を持つのも決して悪いことではないはずです。

もちろん、読書が苦手という人も少なくないでしょう。そんな人には、絵本という手があります。幼い頃読んでいた絵本は、今見ても決して飽きるものではありません。むしろ、おもしろい点がいくつも見えてきます。

久留米大学の御井図書館にも、昔よく読んだなつかしくおもしろい絵本がおいてあります。読書をはじめる第一歩として、開いてみるのも悪くないでしょう。



図書館利用状況（2006年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		29	27	30	31	30	28	30	28	27	28	27	30	345
入館者数	前年同期比	4,194	5,136	210	-2,435	791	-6,993	-7,478	-13,757	-7,938	-9,419	-2,933	-412	-41,034
	学内者	28,221	31,390	30,878	38,198	14,371	14,325	21,988	16,732	19,929	20,822	7,400	8,084	252,338
	前年同期比	90	122	132	147	89	41	16	-117	-95	-15	-166	-191	53
	その他学外者	234	347	420	269	257	295	286	425	277	118	99	107	3,134
地域住民登録者数	前年同期比	-20	0	-11	-8	-8	-2	-1	3	3	-4	1	-11	-58
		30	18	18	6	21	14	9	13	9	5	15	5	163
貸出冊数 (学生)	前年同期比	-282	-214	-153	-481	79	-378	-41	-136	-403	-320	16	-28	-2,341
	全体	1,609	2,092	2,493	3,032	1,305	1,502	2,194	2,276	2,470	2,365	643	383	22,364
	前年同期比	-53	-69	0	-117	156	-59	-35	-73	-127	-62	0	0	-439
	内、夜間	305	575	697	780	215	232	589	620	660	588	0	0	5,261
	前年同期比	-66	-47	-110	-21	9	2	75	-39	-52	-81	32	31	-267
	内、土、日曜	142	199	119	330	156	137	210	118	150	253	102	90	2,006
一人当たりの貸出数	0.25	0.33	0.39	0.47	0.20	0.23	0.34	0.36	0.39	0.37	0.10	0.06	3.49	
貸出冊数 (教職員)	前年同期比	-200	31	56	2	-115	14	13	57	-69	-70	22	-111	-370
	全体	514	281	369	316	175	339	342	331	235	240	259	166	3,567
	前年同期比	11	-8	0	57	15	35	2	31	8	-37	0	0	114
	内、夜間	85	57	109	137	31	92	109	104	53	34	0	0	811
	前年同期比	64	4	-4	-3	-15	-22	35	0	-8	-2	-28	1	22
内、土、日曜	73	15	18	33	12	10	67	34	9	21	17	21	330	
貸出冊数 (その他学外者)	前年同期比	33	33	10	17	-48	-28	34	-20	-12	4	-2	-3	18
	全体	142	133	172	67	99	114	188	131	124	38	105	135	1,448
	前年同期比	18	11	28	15	6	8	12	-6	19	-5	0	-7	99
	内、夜間	37	54	74	33	9	27	58	29	46	1	0	0	368
	前年同期比	-13	-1	-21	-16	-8	-26	-36	26	-16	-12	3	-27	-147
内、土、日曜	21	27	37	9	22	35	26	37	33	0	45	33	325	
AVライブラリー 利用件数	前年同期比	-11	3	25	-8	7	-2	10	-37	-28	-2	-2	-4	-49
	学生	12	26	44	13	10	7	26	14	10	7	1	2	172
	前年同期比	16	0	-1	1	7	24	8	15	16	3	4	4	97
	教職員	28	19	11	6	7	33	27	45	21	11	6	5	219
	前年同期比	3	-4	-3	-4	-9	-1	0	0	0	0	-1	0	-19
その他学外者	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
相互利用 (文献複写) 申込件数	前年同期比	-104	27	-10	-43	-75	38	-4	-17	-73	-3	-43	-7	-314
	学生	121	214	218	124	79	145	156	128	94	104	35	67	1,485
	前年同期比	35	-13	-56	47	-4	-17	-27	-3	11	14	-13	1	-25
	教職員	75	31	23	79	43	48	16	29	38	46	39	19	486
	前年同期比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他学外者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相互利用 (現物貸借) 申込件数	前年同期比	-9	2	10	3	1	-8	0	17	5	-1	10	1	31
	学生	1	12	19	16	9	8	9	24	9	13	12	3	135
	前年同期比	15	-1	-6	-13	-6	8	-15	-2	-3	-2	2	-3	-26
	教職員	20	9	9	9	10	11	6	15	7	17	17	5	135
	前年同期比	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他学外者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

〈貸出冊数についての注記〉

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. “夜間”とは、平日の17:00~21:00の夜間開館時間を指す。
*なお、4月1日~4月11日、8月7日~9月20日、1月30日~3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 地域住民への貸出は、7月11日~8月4日、1月4日~1月29日の期間は停止している。
4. 学生一人当たりの貸出数は、平成18年5月1日現在の御井キャンパスの学生数で算定。

〈入館者数について〉

機器の誤作動によるカウントもれが発生しております。

編集・発行 久留米大学御井図書館
〒839-8502 久留米市御井町1635
TEL (0942) 44-4015
FAX (0942) 43-0348
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>